

# 農福連携 地域を支える

新潟県長岡市一之貝のNPO法人「UNE（ウネ）」は、農園芸や福祉活動を通して障害者支援や高齢者の生きがいづくりを行っている。UNEは、2013年2月に設立。長岡市やJA越後ながおかなど、さまざまな団体と連携を取りながら、NPO法人としては、新潟県内初の認定農業者を取得した。現在は「UNEH AUS（ウネハウス）」を拠点に、どぶろく「雪中苧乃界」の製造や農家民宿や農家レストランの運営、農産物の製造販売など多くの事業に取り組んでいる。



家老代表④とインターンの立命館大学の学生

UNEの代表を務める家老洋さんは「全ての人人間らしく、誇りを持って一生安心して暮らせるユニバーサル社会を理念に活動を始めた。豊かな自然の中で、農園芸作業を通して労働の喜びや生きがい、そこに暮らす人を感じながら生活していける持続可能な社会モデルをつくりたい」と笑顔で語る。

UNEでは、農業分野の事業だけでなく地域の生活面のサポートも行っている。一之貝は、長岡の市街地から車で20分ほどの栃尾の里山集落。人口は約300人で、過疎化や高齢化が進んでいる。その中で、U



ミカン

まる見込みだ。サトイモを担当するJA園芸特産課の涌井健司さんは「出荷規格を確認

JAみなみ魚沼水産部会は10月中旬、道の駅南魚沼「雪あかり」内の特設会場で、「第49回南魚沼

## 新潟県長岡市 飲食など多事業展開 NPO法人「UNE」

NEが中心となって、地域住民の買い物や医院・病院への送迎、雪下ろしサービスなども実施。地域になくてはならない存在として一之貝を支えている。

農家民宿やレストランは、県外からの利用客もいるほどだ。提供しているメニューには、一之貝や北荷頃の女性たちが作る「うねご飯」がある。茶わんにたっぷりと盛られた米「コシヒカリ」や、みそ汁、手製の漬物など地元産の食材を使ったランチで、特に人気がある。

9月中旬から、5日間のインターンとしてUNEを訪れていた立命館大学の学生は「インターンに参加してみて、UNEが地域の人々の憩いの場になっていることを実感した」という。

家老代表は「まずはこの一之貝から、農村と福祉が共存する具体的な成功モデルをつくっていくことが目標。また活動が全国に広がって、中山間地の現状を解決する懸け橋になりたい」と意気込む。

(越後ながおか)

「品評会」を開き、品評会の結果は、全体・成魚・幼魚の各部門で、関口養鰻（ようり）場が総合優勝に輝いた。同養鰻場は昨年に引き続き受賞した。



多くの来場者でにぎわったニシキゴイの品評会

までも見てもらえよう」と驚きの声を上げた。表彰式で、JAの高橋武副組合長は「生産者が丹精込めて育てたニシキゴイを、地域の方々やたくさんの方々に観賞してもらうことができ、大変うれしく思う。品評会を通じて、道の駅や農産物直売所『四季味わい館』の活性化にもつながられるよう、JAとしても関係機関と一体となり、取り組みたい」と話した。

### 芋掘り思い出に 保育園に圃場提供

新潟県新発田市 廣井明彦さん

【北越後】新発田市紫雲寺地区の「紫雲のめぐみ」構成員の廣井明彦さん（61）は、近隣の保育園にサツマイモ掘りの圃場（ほじょう）を提供して15年を数える。廣井さんがサツマイモ圃場を受け継ぎ、面積を増やしながら保育園の受け入れを



園児に掘り方を教えるJA職員

継続している。廣井さんは「楽しんでサツマイモ掘りの思い出を残してもらえたらいい」。1年に受け入れられる園児が、甘味が強いですぐに園児たちと廣井さんには、お芋を60収穫収量

特別メニュー 参加者